

| | | |
|--------|------|---------------------------------------|
| 2026年度 | 科目名 | 学校教育心理学特論 |
| | 英語名 | Advanced Seminar on School Psychology |
| | 科目属性 | 専門科目A群 |
| | 担当教員 | 松浦 均 |
| | 単位数 | 2単位(SC 0.25単位) |

【授業の目的・ねらい】

本授業は、「援助要請」と「被援助志向性」の概念について理解を深め、主に学校で起きている様々な問題や課題のなかで、困っているのに助けを求められない人の理解と援助(実践)について理解することを目的とする。本授業の到達目標は次の通りになる。

【授業の概要】

授業の到達目標に記載されたテーマに沿って、各回の授業内容を学習していく。

- (1) 授業計画に沿ってテキストの各章・節の内容を熟読し、理解する。
- (2) 関連する文献や参考資料を検索し、ダウンロードして読み、知識を広げる。
- (3) 課題をレポートにまとめ、教員からのフィードバックによって、理解を深める。
- (4) スクーリングでは、援助に関する考え方について受講者と議論をしながら、理解を深める。
- (5) 科目修得試験では、教科書、レポート、スクーリングでの学習を総合した知識を問う問題に答える。

【授業の到達目標】

「学校教育心理学特論」では、まずは「援助要請」と「被援助志向性」の概念について理解を深め、具体的には、困っているのに助けを求められない人の理解と、援助に関する実践例にもとづく考え方を理解し、学校場面での問題や課題解決に資する知識を修得する。

授業の主なテーマと下位の目的は次のようなものである。

1. 「援助要請」と「被援助志向性」の概念を理解し、子どもの困り感、困ったときにどうするか(援助要請)、支援の在り方、被援助志向性を高めるための方策などを理解すること。
2. 援助要請、被援助志向性、援助行動に関する文献や先行研究をレビューしながら、研究の動向を理解し、また隣接領域との関係性についても理解すること。
3. ここで学修した、学校にある子どもの支援に関する重要な知識を学校現場で生かせるようになること。
4. 援助要請、被援助志向性、援助行動に関する文献や先行研究をレビューしながら、研究の動向を理解し、また隣接領域との関係性についても理解すること。
5. 学校現場における自身の経験と、心理学的知見との関連を見いだし、理解できるようになること。

【授業計画】

第1回 テキスト第1章 援助要請・被援助志向性の研究と実践、

- 第2回 テキスト第2章 援助要請・被援助志向性研究
- 第3回 テキスト第3章 子どもの援助要請
- 第4回 テキスト第4章 親の援助要請
- 第5回 テキスト第5章 教師の援助要請
- 第6回 テキスト第6章 看護師の援助要請
- 第7回 テキスト第7章 スクール館セララーへの援助要請を促す支援
- 第8回 テキスト第8章 医療機関への援助要請
- 第9回 テキスト第9章 学生相談への援助要請
- 第10回 テキスト第10章 自殺と援助要請／テキスト第11章 HIV/AIDS
- 第11回 テキスト12章 ひきこもりの援助要請
- 第12回 テキスト13章 メンタルヘルスリテラシーの重要性
- 第13回 テキスト14章 援助要請促進プログラム開発と評価
- 第14回 テキスト15章 援助要請の社会心理学
- 第15回 テキスト16章 今後の援助要請研究Ⅱにおける理論的課題と実践的課題

○科目修得試験

【評価方法】

スクーリング評価(30%)、レポート評価(30%)、科目修得試験(40%)を総合しての評価となる。

【教科書】

水野治久監修・永井智・本田真大・飯田敏晴・木村真人編『援助要請と被援助志向性の心理学』金子書房
2017年 ISBN978-4-7608-2174-7

【参考図書】

* 以下のものは参考書・参考資料の例であって、必ず参照しなければならないわけではない。この他にも自分で必要な文献は検索して学修すること。

1. 高木修・竹村和久編『思いやりはどこから来るの？ 利他性の心理と行動』誠信書房 2014年
2. 相川充『新版 人づき合いの技術 ソーシャルスキルの心理学』サイエンス社 2009年
3. 岡田美智男著 <弱いロボット>の思考 わたし・身体・コミュニケーション 講談社現代新書 2017年
4. 『教育心理学研究』『発達心理学研究』『社会心理学研究』『心理臨床学研究』などの学術誌に掲載されている論文。知見としては新しい(最近)の論文を見つけることが望ましいが、その論文の引用文献リストに並んでいる論文もチェックしておくことが研究を進めていくコツの一つである。